

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒231-8506
 住 所 横浜市中区日本大通17
 氏 名 富士シティオ株式会社 印
 代表取締役 菊池 淳司
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	富士シティオ株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市多摩区菅3-12-36		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	58	飲食料品小売業
主たる事業 の内容	食料品小売業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		1,660 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	店舗サポート室 支援課
		所在地	横浜市中区日本大通17
		電話番号	045-641-1000
		FAX番号	045-681-3145
		メールアドレス	0
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 平成24年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 2,735 t-CO ₂ (調) 2,181	(実) 2,818 t-CO ₂ (調) 2,248	(実) 2,482 t-CO ₂ (調) 1,980	(実) 2,763 t-CO ₂ (調) 2,200	(実) 2,645 t-CO ₂ (調) 2,109
削減率		(実) -3.0 % (調) -3.1	(実) 9.3 % (調) 9.2	(実) -1.0 % (調) -0.9	(実) 3.3 % (調) 3.3

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	延床面積		単位	t-CO ₂ /千㎡	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値	119.9	123.5	108.8	121.1	115.9
削減率		-3.0 %	9.3 %	-1.0 %	3.3 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	デリド武蔵小杉店の営業時間が大きく増加している為、温室効果ガスの排出量が増えている。
第2年度	自主的節電の取組み・改装工事による店内照明（蛍光灯・スポットライト）をLED照明へ変更が温室効果ガスの排出量の減少に貢献
第3年度	第3年度（目標年度）の排出量は基準年度比1.0%悪化（目標は3.3%改善）し、かつ原単位も基準年度比1.0%悪化（目標は3.3%改善）した。これは基準年度排出量は6店舗中1店舗（デリド武蔵小杉店）が実質営業停止していたため5店舗分の排出量で設定したことによるものである。（第1年度から営業再開）デリド武蔵小杉店を除く5店舗分のみによる評価では・総排出量/2,717→2,371（12.7%改善）・原単位/124.0→108.2（12.7%改善）と大幅改善を達成している。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	照明インバータ化の実施、防露ヒーター制御の実施、冷凍機制御の実施、自主的節電活動の実施。
	第1年度	自主的節電活動の実施→照明の間引き、空調温度の調整（冷房28℃、暖房20℃）、冷凍機制御の実施、冷ケースハニカム、空調機フィルターの定期清掃の実施
	第2年度	自主的節電活動の実施→照明の間引き、空調温度の調整（冷房28℃、暖房20℃）、冷凍機制御の実施、冷ケースハニカム、空調機フィルターの定期清掃の実施。その他、節電活動の意識向上につながる定期的な発信。
	第3年度	第1期計画では、自主的節電活動の推進・空調温度の調整・冷凍機器抑制の推進・空調機器類の定期清掃の実施と従業員の節電活動意識向上の啓蒙活動実施などの活動により総排出量・原単位の改善の成果を得た。
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	レジ袋削減の推進 年間0.2 t
第1年度	レジ袋削減の推進 年間0.1 t (レジ袋重量) …CO2削減量 年間476 k g
第2年度	レジ袋削減の推進 年間0.12 t (レジ袋重量) ~CO2削減量 年間571 k g
第3年度	第1年度計画期間では、第3年度はレジ袋削減の推進 年間0.06 (レジ袋重量) CO2削減量 年間285 k gと第1年度・第2年度よりは削減量が減少したものの、3年間でCO2削減に成果を得た。

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	廃棄物の減量化
第1年度	廃棄物の減量化 (食品残さの削減)
第2年度	廃棄物の減量化
第3年度	第1期計画期間では廃棄物の減量化による活動で成果を得た。

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績 (排出係数反映)

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	3,065	t-CO ₂
(調)	3,057	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等单位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k_l 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 以上 1,500k_l 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
上野川店	川崎市宮前区野川16-1	5811	各種食料品小売業	1,143 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k _l 未満	
300~400k _l 未満	
200~300k _l 未満	3
100~200k _l 未満	1
100k _l 未満	1

(3) 事業所等单位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--